



2797

ラベル又は製品に添付の場合のみ有効



重要情報

手術器械の再使用処理について

00-501-944-02 Rev. E

発行日: 2021-05

surveillance@incipiodevices.com
www.incipiodevices.comIncipio Devices LLC
3650 West 200 North • Huntington IN 46750 • USAMDSS GmbH
Schiffgraben 41 • 30175 Hannover • Germany

JA

日本語

使用目的

Incipio Devices社の機器は整形外科手術での使用を目的とした再使用可能な医療機器及びその付属品で構成されています。当社の機器は、取扱い及び使用において、また手術手順において十分な訓練を受けた有資格者のみが使用してください。

一般的安全についての注意

- 当社の手術器具の使用、組み立て、分解に関連する追加情報、および使用説明書の追補翻訳版は、Webサイトから入手できます。(www.incipiodevices.com)
- 術前に外科医は外科処置のあらゆる局面および機器の限界を十分に理解していなければなりません。
- 再使用処理工程を正確にすることは、ユーザーに義務付けられています。高い能力と資質を有するスタッフのみが再使用処理工程にかかわり、病院の手順と方針が遵守されていることを確認してください。
- ユーザーは、デバイスを使用するとき、常に適切な個別の保護具を着用してください。
- 当社の器具トレイは機器の無菌性を維持することを目的としていません。医療従事者は、トレイとその内容物の無菌性を維持するためには、適切なパッケージを使用してください。
- 患者および/または使用者に重大な被害をもたらす、またはその可能性のある当社の手術用器具の重大な瑕疵または機能障害は、使用者の国の行政機関に報告する義務があります。

警告

- 鋭利な手術機器を取り扱う際、手術用手袋を切ったり、傷を付けたりすると感染の危険性がありますので十分注意してください。
- Incipio Devices社の機器は未滅菌で提供されるので、使用する前に洗浄して滅菌してください。
- プリオン汚染の疑いがある場合は、適用される法律および規則に従って本器を安全に廃棄してください。再使用しないでください。
- 機器は、単一のパッケージ、包装またはブリスターで提供されます。製品の識別は外部ラベルに表記されています。包装が破損している場合は使用しないでください。
- 洗浄と滅菌の前に、すべての機器をパッケージから取り出してください。保護キャップまたは保護材も取り外してください。
- 機器は、フッ素または塩素系や油脂系洗剤と接触させないでください。合成（プラスチック）素材を有する機器は、強酸溶液（pH <4）、アルカリ、有機またはアンモニア系溶媒、酸素系化学薬品やその他の物質に悪影響を及ぼす可能性がある他の物質と接触させないでください。
- 異なる製造メーカーの機器やコンポーネントとの併用は推奨しません。互換性、機能、または機器の性能に問題が発生する可能性があります。当社が推奨する以外の互換性のない機器または構成部品が使用された場合、当社はいかなる責任も負いません。

使用におけるケア

- 外科手術中に血液や異物を拭いて表面に乾燥付着させないようにしてください。中空状の器具を滅菌水で一度洗浄して、汚れおよび/または破片が内部に乾燥付着するのを防いでください。
- この機器は、使用直後（乾燥付着を防ぐために2時間以内）に予備洗浄をしてください。

洗浄と消毒について

- 必要に応じて、機器の洗浄と消毒には自動洗浄と消毒の手順を行ってください。超音波槽を適用する場合であっても、自動化手順が使用できない場合にのみ手動で行ってください。
- 手動、自動を問わず汚染除去/前洗浄の手順を行ってください。

汚染除去/前洗浄の準備

- 洗浄、消毒および滅菌の前に、パーツを取り外すか、若しくは機器を完全に分解してください。機器に付属の分解手順を参照してください。
- すべての機器は、使用直後（乾燥を防ぐために2時間以内）に、洗浄や消毒を行う前に手作業で除去してください。中空型機器/カニューレには特に注意してください。
- 洗浄の前に機器を浸漬し、洗い流して、目に見える汚れや破片を機器表面から浮かせてください。機器を浸漬するには、新しく調製した酵素洗浄用洗剤（pH≤8.5）を使用してください。濃度、温度、浸漬時間については、洗剤メーカーの指示に従ってください。柔らかく毛羽立ったブラシで磨くと効果的です。スチールウールや研磨クリーナーは使用しないでください。
- 冷水（<40° C / 104° F）を最低1分間使用して、機器をすすいでください。

洗浄機/消毒器を使用した自動洗浄と消毒

- 自動洗浄の前に以下の除染/前洗浄手順を行ってください。
- 分解した器具を洗浄機/消毒器に入れ、機械同士が接触しないようにしてください。

- 機器のすべてに設計・機能上、洗浄が可能であること、すべてのヒンジが開いていること、すべての中空と穴に詰りが無いことを確認してください。
- 以下に示す最小限のパラメータで、標準的な計器洗浄機/消毒器サイクルを設定してください。

サイクル	適応時間	温度	洗剤注入
予備洗浄	2分	水道水 (40° C以下)	—
洗浄	5分	60° C以上	中性酵素洗剤
中和	2分	水道水(40° C以下)	—
すすぎ	1分	水道水(40° C以下)	—
熱消毒	5分	90° C 以上	—
乾燥	7-30 分	熱処理100-120° C	—

- 目視で汚れないか点検してください。汚れがある場合は、洗浄を繰り返してください。
- 濃度、温度、浸漬時間については、洗剤メーカーの指示に従ってください。
- 洗浄機/消毒器の使用では、製造業者の取扱説明書および推奨される指示に従ってください。ISO 15883基準で承認された洗浄機/消毒器のみを使用してください。洗浄機/消毒器は適切に設置し、定期的に保守、校正してください。

手動による洗浄と消毒

- 噴射器を使用して2分間以上、水道水 (40° 以下) で予備洗浄した機器を良くすすぎいでください。
- 新しく調製した酵素系洗浄用洗剤 (pH8.5) 溶液に機器を浸漬させてください。濃度、温度、浸漬時間、およびすすぎ後の処理については洗浄剤の製造元の指示に従ってください。振動により中空が完全に浸漬していることを確認してください。補助的に柔らかい毛羽立ったブラシで、内側と外側の両面をブラッシングして汚れを落としてください。カニューレ機器は、その中空を洗浄するためにナイロンブラシをカニューレに通して回転させてください。金属製ウールや研磨クリーナーは使用しないでください。接続部位、ハンドル、その他の可動部位などすべての部位に洗剤溶液が行き渡るようにしてください。
- タップなどの深い溝や複雑な形状の機器の場合は、補助的に、再度最初の浸漬にした同じ時間で35 kHzの周波数で超音波洗浄を行ってください。
- 洗浄液の計器を取り外し、1分間以上、脱イオン水または精製水で3回以上すすいでください。ルーメン、カニューレなどに十分にすすぎ液が行き渡るようにしてください。ジョイント、ハンドル、その他の可動部位を良くすすいでください。
- 新しく調製した酵素消毒液に機器を浸漬させます。濃度、温度、浸漬時間、およびすすぎ後の洗浄剤の製造元の指示に従ってください。振動攪拌により内腔が洗浄液に完全に浸漬することを確認してください。ジョイント、ハンドル、その他の可動部分や接続部分に消毒液が十分に行き渡るようにしてください。
- 消毒液とすすぎ液から機器を取り出して脱イオン水または精製水で1分間すすぎ、これを5回以上繰り返してください。ルーメン、カニューレなどにすすぎ液が行き渡ることを確認してください。ジョイント、ハンドル、その他の可動部位にすすぎ液が十分行き渡るようにしてください。
- 目視で機器を点検し、必要に応じて洗浄を繰り返し、機器汚れが残らないようにします。窪んだ部分や隠れた部分に、目につきにくい残留物その他の残留物が完全に取り除かれていることを確認するために慎重に点検してください。
- 新しく清潔で柔らかく、糸くずの出ない布で器具の水分を取り除きます。水分を残さないように、クリーンオイルとゴミの混入のない圧縮空気を機器の間隙部分に吹き付けます。

検査

- Incipio Devices社の機器は、滅菌の前に洗浄工程後の検査をしてください。
- 各機器を慎重に検査して、目に見える血液や汚れすべて除去されていることを確認します。
- 機器の損傷、磨耗、錆について目視検査します。機器の機能を損なう可能性のある損傷、磨耗、錆がある場合は機器を使用せず、製造販売会社等にご連絡ください。
- 可動部位が意図した可動域でスムーズに動作することを確認します。
- 細長いフィーチャー（特に回転機器）の歪みを確認します。
- 溶接接合部がある機器は使用中に機械的ストレスや振動が加わり経年的劣化を起こすことがあります。使用前に溶接接合部の劣化状態を徹底して確認してください。
- 切断用機器は、繰り返し使用すると性能が低下する可能性があります。刃先にダメージ（欠損、破損、腐食）または目視で摩耗の兆候がないか確認してください。劣化した刃先は、切断するためにより大きな応力を必要とし、患者への傷害を引き起こす可能性があります。
- ポリマーからなるコンポーネントを組み込んだ機器や製品群は、広範囲にわたり表面破損（亀裂、層間剥離、ひび割れなど）、歪み、または反りが無いかな検査してください。
- 機器が大きなアセンブリの一部を構成する場合、相手側である構成部品と容易に組み立てられることを確認します。

メンテナンス

- 除染、清掃、滅菌を含む繰り返しの再処理工程は、機器への影響を最小限に抑えるようにしてください。製品の寿命は、使用による摩耗および損傷によって決定されます。使用頻度の高い機器は定期的に交換してください。
- トルク制限装置、トルクレンチ等の機器では、精度および/または再較正のために特別な検査が必要な場合があります。手術技法に記載されている指示または販売店からの指示を参照してください。
- ヒンジ、糸およびその他の可動部品には、市販の医療用の水性の機器用潤滑剤を使用して、摩擦や摩耗を低減させてください。使用については潤滑剤メーカーの指示に従ってください。機械オイルやグリースは使用しないでください。

包装

- 洗浄済みおよび消毒済みの機器は、分解された状態で包装してください。
- 個々の機器を包装する場合は、適切なサイズの医療用単回使用の蒸気滅菌パウチを使用して、一個の機器につき二重で梱包してください。
- 機器を蓋付の器具用トレイで梱包するときは、医療用蒸気滅菌ラップを二重にして使用してください。蓋付きの器具用トレイは、認可されたガスケット蓋付き滅菌容器に移しても構いません。

- 包装形態および包装材は、EN ISO 11607に準拠していることまた蒸気滅菌にも適していなければなりません。（十分な蒸気透過性を持ち、138° C以上の耐熱処理されていることが要求されます。）

滅菌

- Incipio Devices社の機器は、定期的に病院で使用される蒸気オートクレーブ手順（プレバキュームー 3 回以上のプレバキュームサイクル/分別真空手順）によって滅菌することを意図しています（EN 285 / EN 13060に準拠、EN ISO 17665- 1に準拠）。

サイクル	適用時間	温度
Pre-vacuum	4 to 18 分	132/134° C

- ETO滅菌、冷滅菌、フラッシュ滅菌方法は使用しないでください。 Incipio Devicesは、これらの滅菌方法使用による問題が発生してもいかなる責任は負いません。
- Incipio Devicesが現在推奨している乾燥時間は、標準20分から延長は60分までの範囲です。乾燥時間は、無菌バリアシステムの違いや全堆積重量によって大きく変わります。ユーザーは、検証可能な方法（目視検査など）で適切な乾燥条件を確認してください。
- バスケット内の滅菌インジケータで内容物が滅菌されていることを確認してください。
- 機器が高温の場合は使用しないでください。機器の温度が室温まで下がってから手術を行ってください。
- オートクレーブの製造業者の取扱説明書およびガイドラインに推奨されている最大滅菌重量に従ってください。オートクレーブは適切に設置し、維持し、校正する必要があります。エンドユーザは承認された滅菌装置とラップ/パウチのみを使用してください。機器が清潔で無菌コンディションを維持することは、エンドユーザの責任です。各国の法的条例と衛生規定に必ず従ってください。

保管方法

- 手術器具は損傷し易いです。表面の傷がわずかであっても、摩耗や腐食の危険性が高くなります。機器は常に注意して取り扱ってください。
- 腐食の進行を避けるため、手術用機器の保管場所は湿度の高い場所は避けてください。輸送および包装についても同様の環境下で行ってください。
- 滅菌済みの機器は、乾燥したクリーンな環境で、5° C~40° Cの温度で保管してください。

廃棄処分

摩耗および損傷した器具は、医療施設の操作手順に従い、また地域の規制に準拠して、廃棄する前に十分に洗浄および消毒してください。

禁忌事項

Incipio Devicesの機器の改造は絶対に行わないでください。製造会社であるIncipio Devices社のみが行います。使用者が改造等を行った場合、Incipio Devices社はその後の結果に対していかなる責務を負いません。

記号等



カタログ番号



ロット番号



乾いた状態に保ってください



製造者



製造日



未滅菌



権限を与えられた代理人



注意



添付文書を読んでください



有資格の医師による使用のみ